

テーマ「災害時の新聞の役割」

日本は災害が多い国です。災害が起きたときに新聞がどのような役割を果たしてきたか取材します。

取材場所 3階「新聞のあゆみ：災害時の新聞の役割」

1

地震や台風、大雨、津波など災害のときに、どこで何が起きたのかをその地域の人たちに伝えることは、新聞の大きな役割です。しかし、災害のときには新聞社も被災して、新聞を発行できなくなることがあります。

1995年の阪神・淡路大震災のとき、神戸新聞社は自社だけで新聞を発行することができませんでした。そのとき、神戸新聞はどのようにして新聞を発行したでしょうか。



2

新聞は、被災して困っている人たちにとって必要な、避難所、買い物ができる場所、水道・給水、医療、入浴・宿泊など_____も伝えます。



3

新聞は災害が起こったときだけではなく、災害が起こってから5年後や10年後も継続して災害を伝え続けています。それはどうしてでしょうか。



チャレンジ

自由見学のとことや帰ってから挑戦しましょう。

災害が起こって避難所に避難している人たちは、災害を伝える新聞を読んでどんなことを思ったのか考えてみよう。

